3.2Mグランドフォーマット　LED-UV硬化インクジェットプリンタ

UJV55-320

Product Guide



～　仕事の幅を広げる3.2m幅UV　～

株式会社ミマキエンジニアリング
SGマーケティングG
2016/10/31
Ver.1.2

本内容は技術改善等により、予告なく変更する場合があります。

UJV55-320　概要

少ない投資額ながら高いパフォーマンスを発揮する 3.2m幅のUV-LED方式採用Roll to Rollプリンタです

最大プリント可能幅

3.2m-wide (125inch)

Twinロールプリント機能　標準搭載

1.52m-wide (60inch)　**1.52m-wide (60inch)**



小巻取りユニット付
（Twinロール対応）

紙管巻取り用ユニット取付

LED背面ライト付
電飾プリントの仕上がりを即座に確認可能

USBに加え
イーサネット接続OK

選べるインクセット
4C(CMYK)
7C(CMYKLcLmW)

- **インク**
  - UVインク　LUS-120
- **インクセット**
  - 4C(CMYK) / 7C(CMYKLcLmW)
- **プリント速度**
  - 4Cバナー：Max. 110sqm/h
  - 7Cバナー：Max. 60sqm/h
- **印刷解像度**
  - 4C: Max.900×1,200dpi
  - 7C: Max.1,200×1,200dpi
- **インク容量/インクタンク容量(1色につき)**
  - 1L(ボトル入り) / 3L
- **安定稼動技術搭載**
  - ノズルチェックユニット
  - ノズルリカバリーシステム
  - MCT
- **外形寸法*（W×D×H） / 重量**
  - 本体寸法(外部供給ユニット除く)
    5,410×995×1,440mm
  - 本体寸法(外部供給ユニット含む)
    5,680×1,220×1,440mm
  - 重量　910kg

システム構成

RIP用パソコン



[RIP用パソコン推奨スペック]

CPU：Core i5　3.2GHz
メモリ：8GB
HDD：500GB
USB2.0：4ポート以上
光ディスクドライブ：DVD-ROM
Windows7 Professional 64bit
モニター：1366x768

USB2.0

Ethernet

接続

製品構成

[プリンタ本体]



[RIPソフトウェア]

RasterLink6

*標準添付

[インク]
LUS-120 CMYK / CMYKLcLmW

オプション

- 3.2mロールシャフト
- ソフトメディア搬送キット
（2016年9月工場出荷予定）
- イオナイザーキット

※　パソコン、初期インク、運送費、設置費、教育費等などの費用は別途必要です
※　UJV55-320は付属のインクタンクからインクを供給します
インクタンクには各色最低1L、最大3Lのインクが入ります
ご導入時は各色最低1本のインクをお買い上げいただくことが必要です
※　EthernetとUSBの同時接続はできません

製品特長

- **高いコストパフォーマンス　3.2m幅　UV-LED方式Roll to Rollプリンタ**

1. **活用用途を広げるUVプリントシステム**
   - ① 使い方に応じて選べるインクセット
   - ② バリエーション豊富なホワイトプリントモードを搭載
   - ③ バックリットサインに最適な高い隠蔽性を実現

2. **UV-LEDプリントによる効率的な生産**
   - ① 最高110㎡/hのプリント速度
   - ② その場でプリント品質を確認できるLEDバックライトを搭載
   - ③ 3.2m幅を活かしたTwinロールプリント機能を搭載

3. **連続無人運転を可能にする安定稼動技術**
   - ① ノズル状態を自動で確認・修復するNCU&NRSを標準搭載
   - ② 白インクの沈殿を防止するホワイトインク循環機構搭載

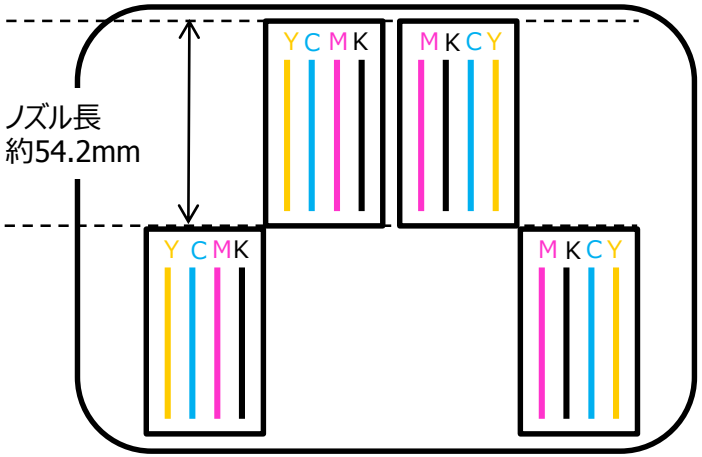
4. **屋内POPも製作可能な高いプリント品質**
   - ① 独自の画質コントロール技術を搭載

- **作業者と環境に配慮**

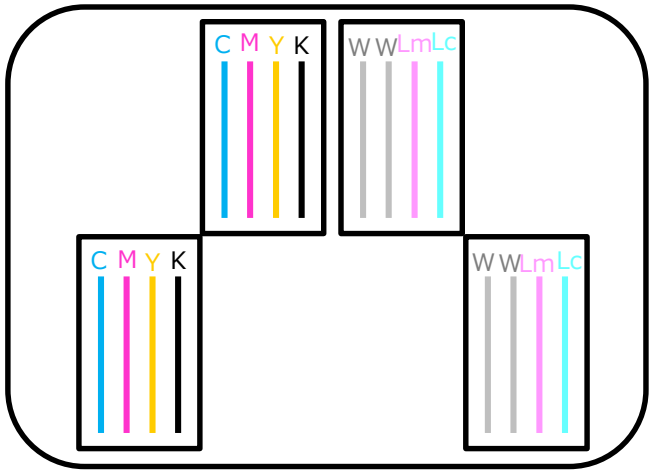
インクセット/ヘッド構成

- **使い方に応じて選べるインクセット**

4色インクセット　シアン
マゼンタ
イエロー
ブラック



7色インクセット　シアン
マゼンタ
イエロー
ブラック
ライトシアン
ライトマゼンタ
ホワイト



ヘッド構成：プリントヘッド4基をスタガ配列
1ヘッド　1280ノズル（320ノズル×4列）
4ヘッド合計　5120ノズル

ホワイトプリント

ホワイトプリントモード

ホワイトインクの使用によって、アプリケーションの幅が広がります。
ホワイトインクは、単層プリントだけではなくカラーインクと組み合わせた2層、3層のプリントが可能です。

[ウィンドウ装飾]：白を下地にして透明メディアにプリント

- 1層　白
- 2層　カラー+白/白+カラー
- 3層　カラー+白+カラー



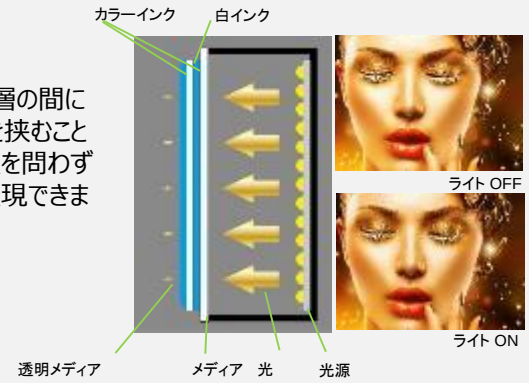
白インクのプリント濃度を調整することにより、グラデーション部分も自在に再現します

*左写真：
透明フィルムにホワイト1層プリント

[電飾サイン]：3層プリントによるデイ&ナイト印刷

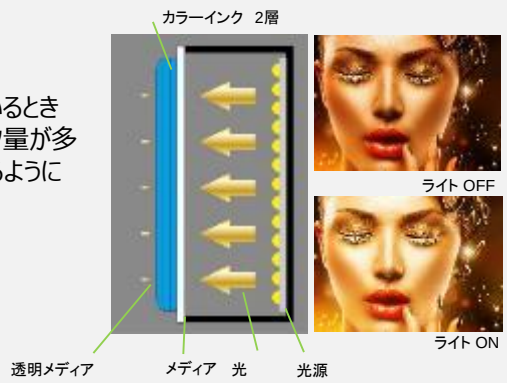
[3層　カラー+白+カラー]

カラーインクの層の間に白インクの層を挟むことによって、昼夜を問わず適切な色を表現できます



[2層　カラー+カラー]

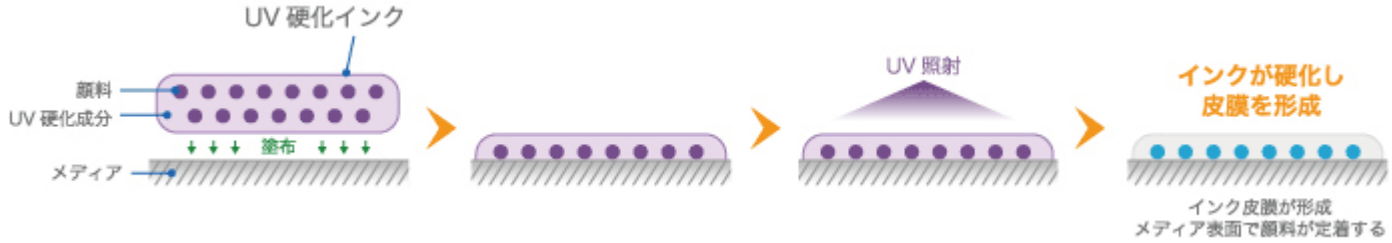
ライトが消えているときに見るにはインク量が多く、色が濃すぎるように見えます。



UVプリント方式の特長-1

- **方法**

  UV光（紫外線）を照射させることにより、硬化・定着するインクです。
  受理層を持たない多様なメディアにプリントができます。



- **メディア汎用性**
  - ターポリン
  - 塩ビ
  - 透明PETフィルム
  - 紙系メディア
  - FF　　など…
  - 屋内外のさまざまな用途に活用ができます



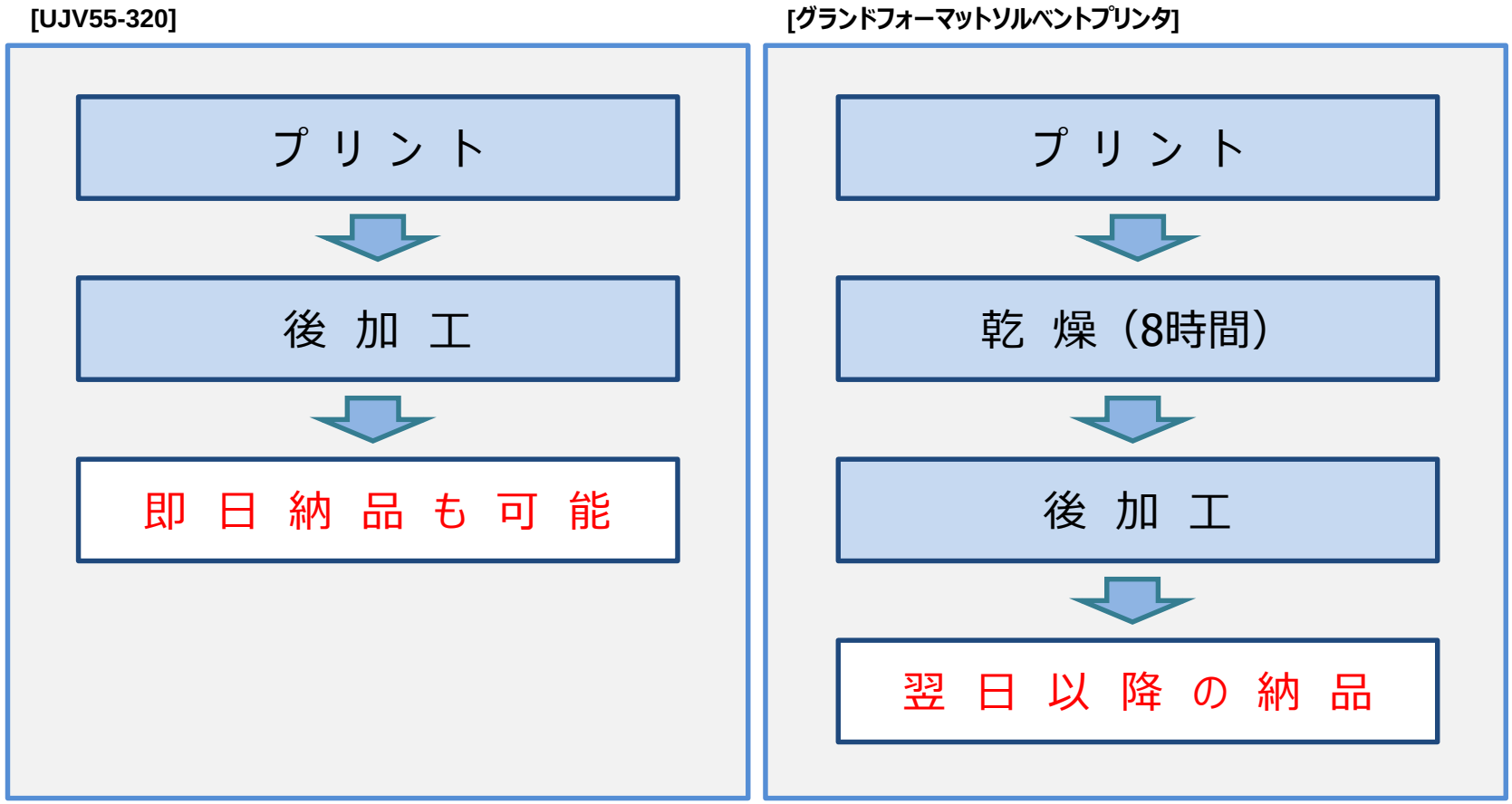


UVプリントの品質特長
- **高い隠蔽性**
- **シャープな仕上がり**

UVプリント方式の特長-2

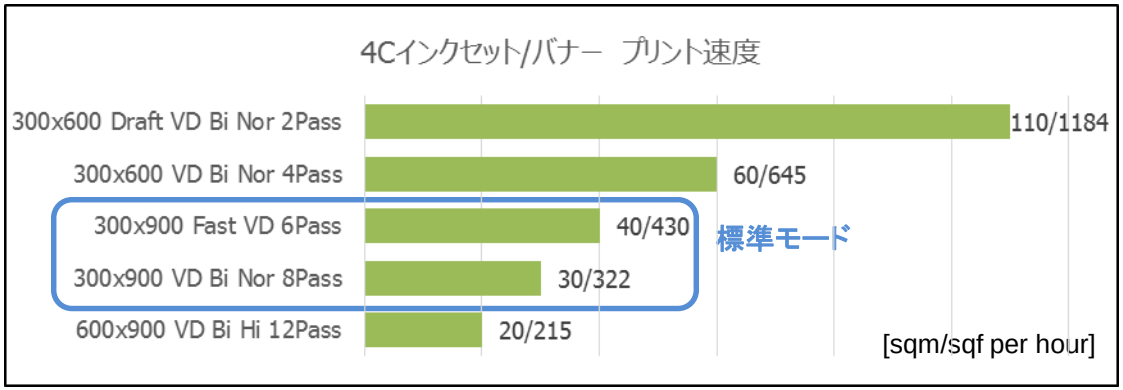
- **即硬化特性**

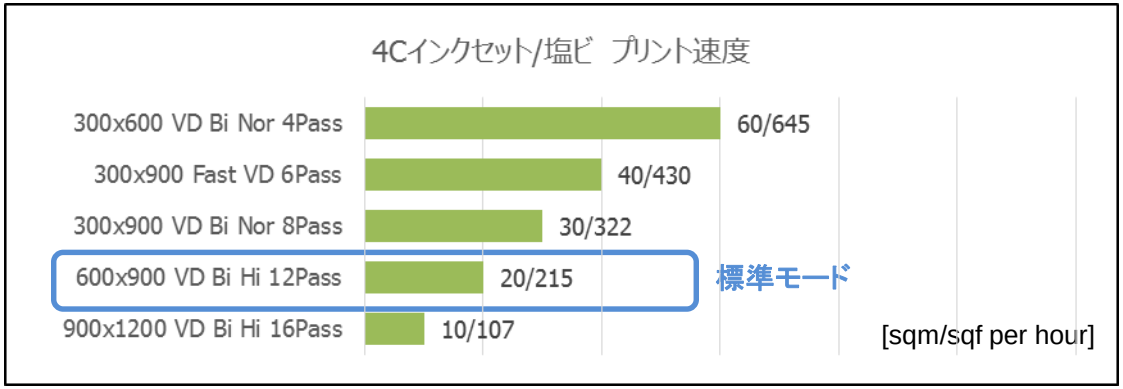
ソルベントインクとは異なり、UVプリント方式　UJV55-320は乾燥時間を必要としません。
プリント後すぐに、施工、後加工など次の工程に移ることができるため、短納期を実現します。

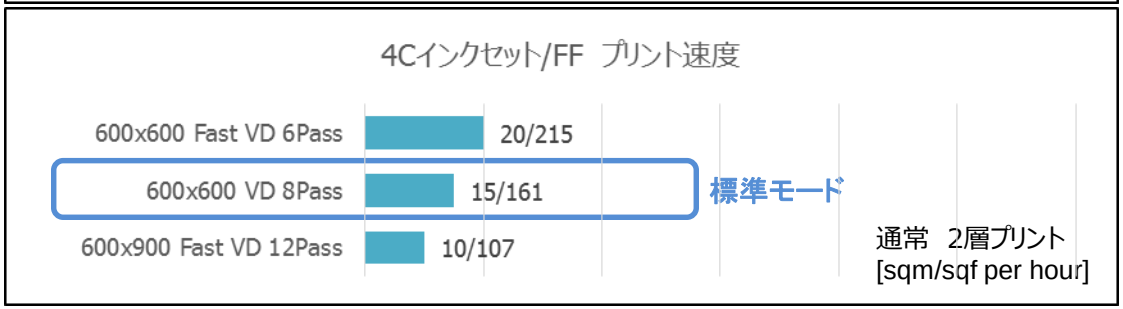


プリント速度 （4色インクセット）

- プリント速度





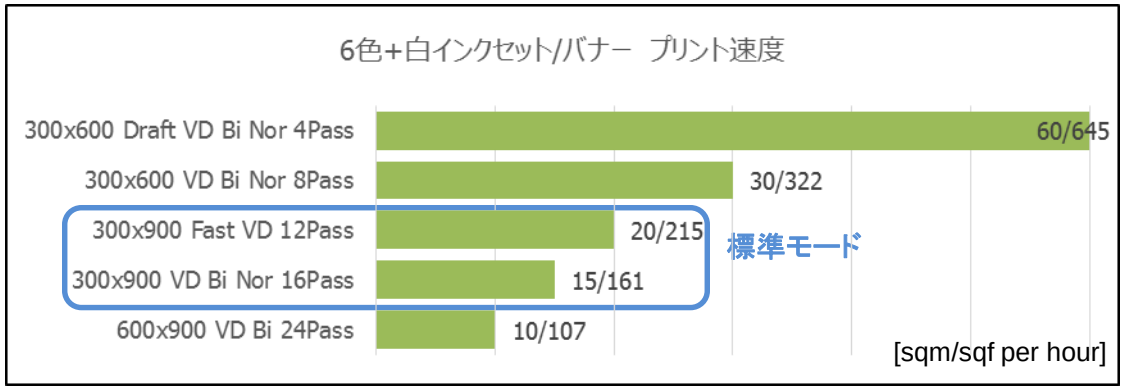


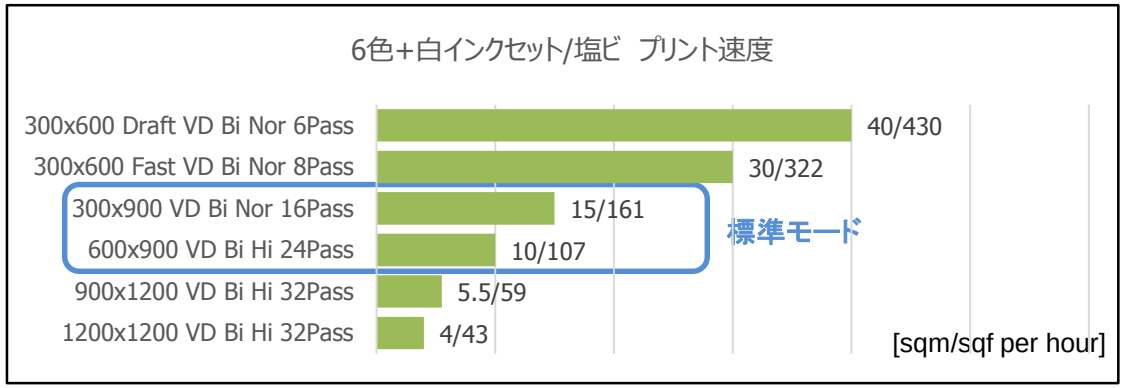
4色 バナー
Max 110 sqm/h(1184 sqf/h)

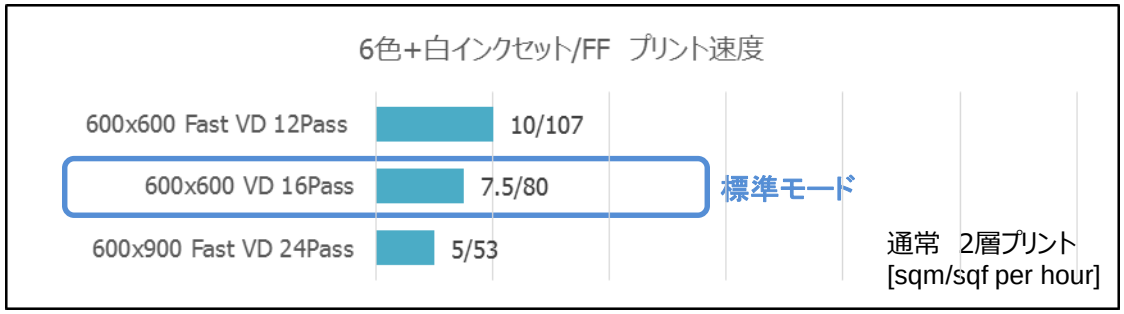
- 3.2m幅メディアにプリントしたときの速度です
- 1.5mのメディアの場合は時間当たりの出力面積が半分になります

プリント速度（7色インクセット）

- **プリント速度**





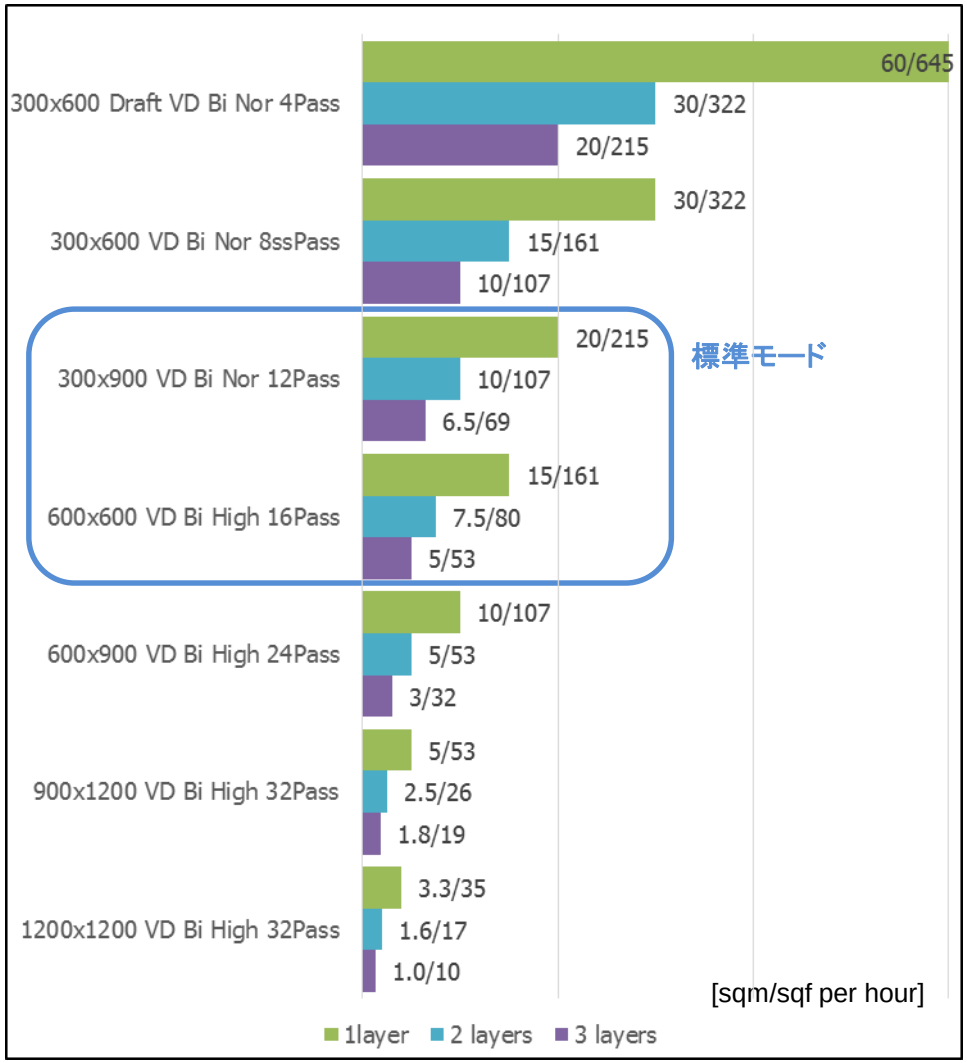


7色　バナー
Max 60 sqm/h(645 sqf/h)

- 1200x1200dpiモードの場合のプリント幅は、原点から2.7m地点までとなります
- 3.2m幅メディアにプリントしたときの速度です
- 1.5mのメディアの場合は時間当たりの出力面積が半分になります

プリント速度(7白プリント)

- プリント速度



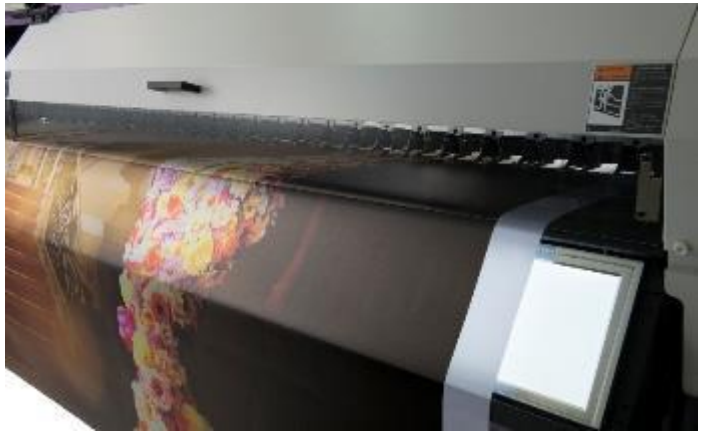
ホワイト1層プリント
Max 60 sqm/h (645 sqf/h)

- 1200x1200dpiモードの場合のプリント幅は、原点から2.7m
- 地点までとなります
- 3.2m幅メディアにプリントしたときの速度です
- 1.5mのメディアの場合は時間当たりの出力面積が半分になります

LEDバックライト

- **プリントと同時に仕上がりイメージが確認可能**

  プリント成果物に後ろから光を当てて仕上がりを確認できる、LEDライトを標準搭載
  初めて出力するデータでも、作図結果が実際の現場で使えるものなのかをプリント後すぐに判断できます





- 画質確認のためにプリンターを止める必要はありません。
- LEDライトはプリント直後に確認できる場所に設置されています。不具合を見つけた場合にも、すぐにプリントを中断できます。
- 無駄なメディア、インク、作業時間の発生を防ぎます。

- 色温度: 7,000 ケルビン
- 付属のアジャスターで調節することで、光量を任意のレベルに変更できます。
- LEDライトは本体から取り外して使用することができます。（別途ケーブルが必要）

TWINロールプリント

- **Twinロールプリント**

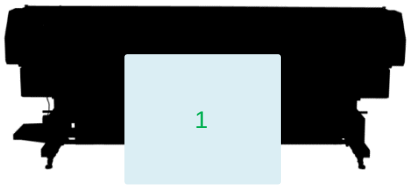
  3.2mというスキャン幅を活かして、1,524mm幅までの狭幅メディアを2本同時にプリントできるTwinロールプリント機能を標準搭載しています。Twinロールプリント機能のないプリンターと比較すると、Twinロールプリント機能によって、1日の出力可能量が約2倍となります。

[UJV55-320の場合]



2 ロールセット

[2.6m(140inch)機の場合]



1 ロールセット

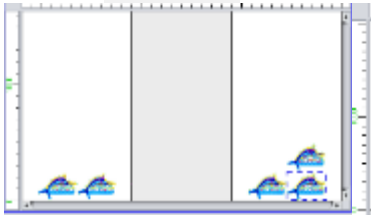
[用途に応じて3種類のプリント方法を実現]

データを左右それぞれのメディアに割り当ててプリントすることも可能なので、2つのジョブを同時並行で進めることができます。

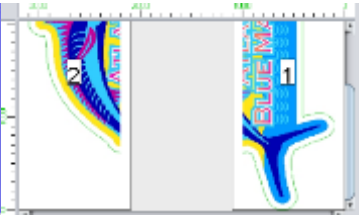
面付け



コピー



タイリング

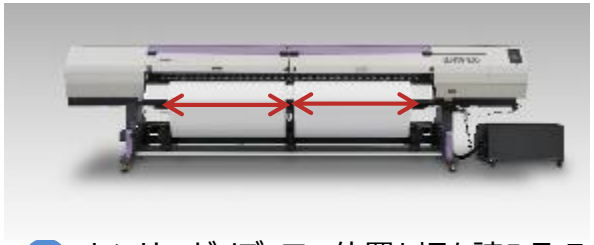


※左右同一種類のメディアの使用を推奨します
※1200x1200dpiモードでは、右メディア右端から2,700mmまでの位置までがプリント可能エリアです

TWINロールプリント – ワークフロー

[Twinロールプリントのフロー]

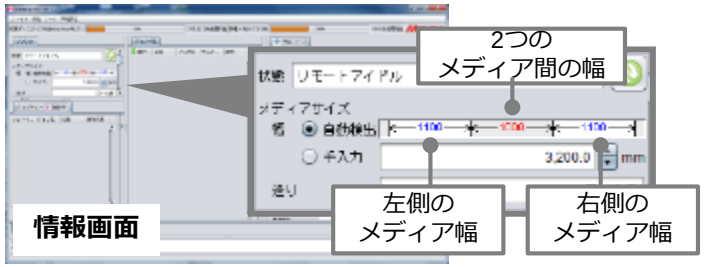
1. メディアを小幅メディア用のロールホルダーにセット

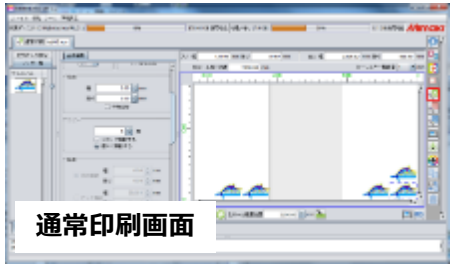


2. センサーがメディアの位置と幅を読み取る
   ➡本体のパネルとRasterLink6画面に反映される
   ※自動で行われます（手動での読み取りも可）

3. Raster Link6でデータを編集し、出力

[RL6での表示のされ方]



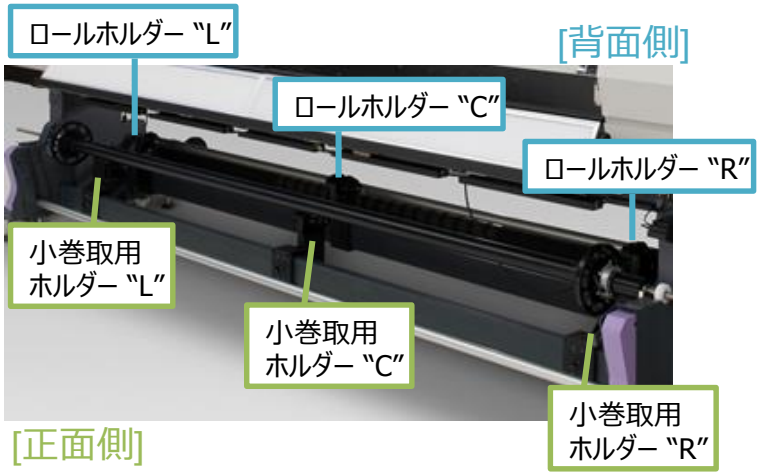


[狭幅メディアのセット方法]

背面の3つ：　繰り出し側のメディアセット用ホルダー
前面の3つ：　巻き取り用のメディアホルダーです
- ホルダーの位置はロール幅に応じて変えられます

Twinロールプリント機能を使うときは、ロールホルダー全て（“L/C/R”）を使用します

- 左メディア：ロールホルダーと小巻取りホルダー”ＬとＣ”にセット
- 右メディア：ロールホルダーと小巻取りホルダー”RとＣ”にセット
- 中央のホルダー（”C”）は左右両方のメディアを支えることになります



※小巻取りを使用する場合は、大巻取りシャフトを台から取り外します

NCU&NRS標準搭載

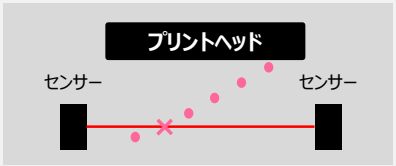
◆ **連続運転サポートソリューション**

1.8m幅を超えるインクジェットプリンタの中で、UJV55-320はノズルチェック機能とノズルリカバリー機能を併せ持っている唯一のプリンタです。

NCU(ノズルチェックユニット)

ノズルの状態をセンサーが自動で検知します
ノズル抜けを発見した場合は自動クリーニングを実行しノズル抜けを解消します。

光が透過した場合、インクが吐出されていないと判断⇒

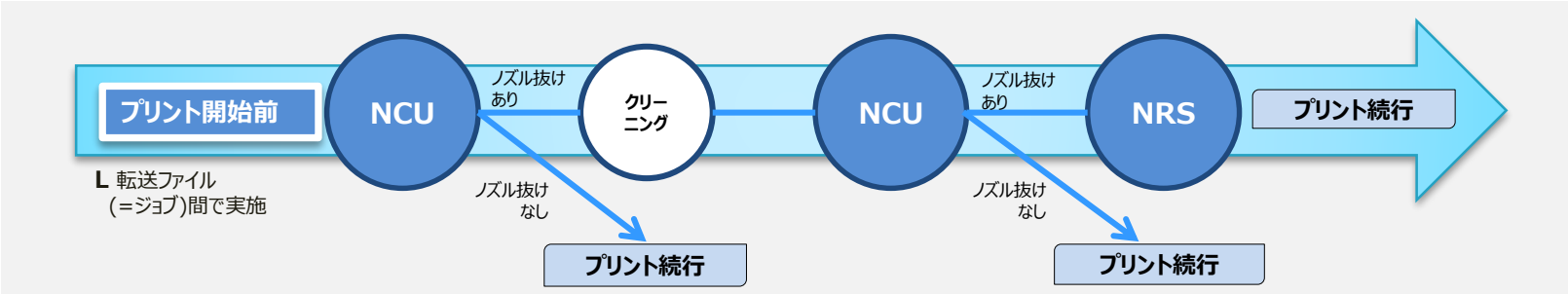


NRS(ノズルリカバリーシステム)

クリーニングでも解消されないノズルトラブルがあった場合も自動で不良ノズルを他ノズルで代替し、CEの修理を待つことなく作業を継続できます。

■2つの設定方法
・手動入力：ユーザーで手動登録(1ノズル列あたり最大10箇所)
・オートノズルリカバリ機能：
NCUのチェック情報を基に自動登録(1ノズル列あたり最大16箇所)

[動作イメージ]



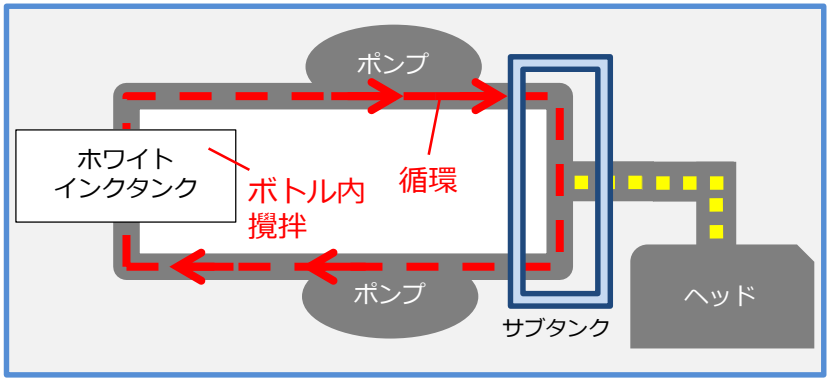
※ノズルチェック、自動クリーニング、自動ノズルリカバリ機能を使用するにはプリンタ本体で設定が必要です
※ノズルチェックのタイミングを、距離またはファイル数で設定することが可能です
1つのジョブの途中で設定した距離に到達した場合、そのジョブの印刷終了後にノズルチェックが行われます
※次のモードではノズルリカバリーが無効になります [4色インクセット]300 x 600 2Pass [7色インクセット]300 x 600 4/6 Pass

MCT&インク供給ユニット

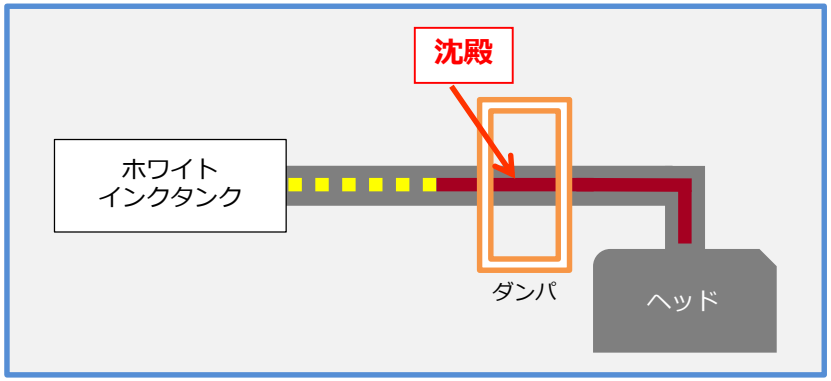
ホワイト循環機構 MCT搭載 （Mimaki Circulation Technology）

ホワイトインクの経路にインク循環システムを搭載することでインクの沈殿を予防し、安定したインク供給を実現します。安定したインク供給により廃液を抑制し、コスト削減にも貢献します。

[MCTを搭載しているUJV55-320の場合]



[インク循環機構を搭載していない場合]



＊ 図はイメージです。
＊ MCTはホワイト搭載の場合のみ機能します

外部インク供給機構

1色につき1つのインクタンクを使用します。（4色インクセットなら4つのインクタンク、7色インクセットなら7つのインクタンクを使用）各タンクの最大容量は3Lです。長時間のプリントのときも、インク切れの心配なくプリントを継続できます。

[インク供給ユニットの特長]

- インク残量自動検出機能
  - インク残量は本体のLCDパネルとインク供給ユニットのディスプレイで見ることができます。
- ホワイトインクタンク内循環機能

※UJV55-320は各色最大容量3Lのインクタンクを使用するため、UISS機能は搭載していません

イメージング技術：MAPS4＆波形コントロール技術

- **イメージング技術[1] MAPS4（Mimaki Advanced Pass System 4）**

  ミマキ独自のバンディング軽減システムです。
  パスの境界線をグラデーション調に印刷することで、バンディング（横縞）や色ムラ、光沢縞を軽減し、滑らかな印刷を実現します。



[MAPSあり]　　[MAPSなし]

プリンタ本体でMAPS4の設定を[AUTO]にするだけで、最適なプリント方法が適用されます。

メディアやプリントデータによってバンディングや色ムラが軽減できない場合は、マニュアルでMAPS4の効果の強弱を変更できます。

※図はイメージ
※MAPSが無効になるプリントモードがあります
[4色インクセット]300 x 600 2Pass [7色インクセット]300 x 600 4Pass

- **イメージング技術[2] 波形コントロール技術**

  インク滴を真球に近い状態でまっすぐに吐出、真円に近い状態でメディアに着弾させる技術です。
  高い着弾位置精度を実現し、文字や線も高精度で再現できます。

[真球に近い状態で吐出した場合]



綺麗な形で高精度に着弾するのでドットが重ならない
↓
ざらつき（粒状感）のない仕上がりになる

[真球ではない状態で吐出した場合]



軌道の曲がりや空中分解により着弾が安定しなくなるためドット間に隙間や重なりが発生
↓
画質が粗くなったり、色ムラの原因になったりする

イメージング技術：MFD1

特許取得
No.5230816

- **イメージング技術[3] MFD1（Mimaki Fine Diffusion 1）**

RasterLink6に搭載されている画像処理機能です。

一般的に用いられている「ILL拡散処理」と「誤差拡散処理」のハイブリッド方式で画像処理を行います。画像処理過程での意図しない繰り返し縞の発生を抑えることでベタ塗り部分の画質を向上させたり、諧調再現性を向上させたりすることができます。

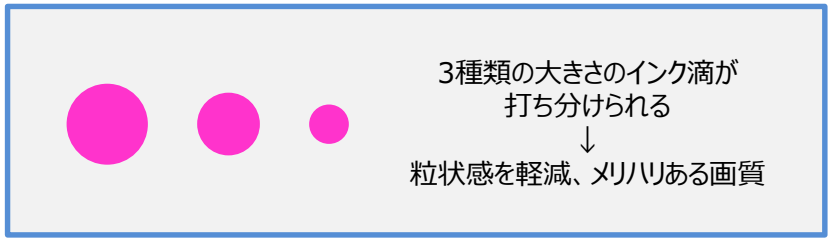
	MFD1	ILL拡散処理
ベタ塗り	 ノイズによる縞の発生を抑え美しいベタ塗り	 ノイズによる繰り返し縞が斜めに入っている
グラデーション	 ILL拡散処理と比べると諧調再現性が向上	 MFD1と比較すると諧調再現性は低い

イメージング技術：バリアブルドット

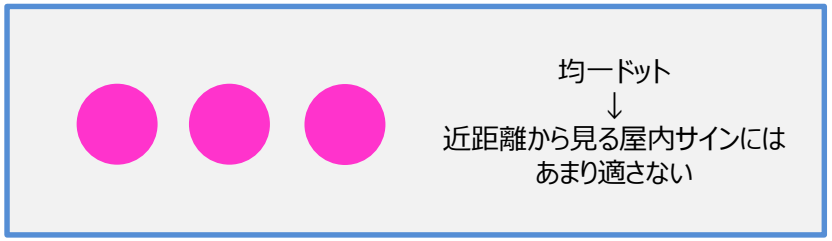
- **イメージング技術[4]　バリアブルドット**

  インクドットを3段階の大きさに打ち分ける技術です。
  異なるドロップサイズを打ち分けることにより、粒状感を軽減した高品質のプリントが可能です。

[UJV55-320]



[従来の海外製グランドフォーマットプリンタの主流]



- **さらに品質を高めた、最高解像度1,200×1,200dpiの7色インクセット**

  4色インクセットのほか、諧調再現性を向上させるライト色と仕事の幅を広げるホワイトを加えた7色インクセットも選択できます。

※　1200x1200dpiモードは、4色インクセットでは使用できません
※　1200x1200dpiモードでのプリント幅は、原点から最大2.7mとなります

作業者と環境に配慮

作業者に配慮

- LUS-120インクは強ソルベントインクに比べて、臭気を大きく低減しています
- LUS-120はニッケル化合物を含んでいません



環境に配慮

- LED-UV方式を採用しています

ソルベント/ラテックス	メタルハライドランプ		LEDランプ	LEDランプのメリット
必要 (ヒーター温度調整)	必要	**ウォームアップ時間 クールダウン時間**	不要	プリンタが待機中は消灯するため、効率の良い使用が可能
ヒーター温度に依存	約70℃	**素材表面温度**	常温	廃熱量の削減 また、熱に弱い素材にもプリント可能
–	約8ヶ月* (約1,000時間)	**ランプ寿命**	約3年半* (約5,000時間)	約５倍のランプ寿命 *使用可能年月試算条件：6H/日、20日/月
–	発生あり ※ミマキで使用しているメタルハライドランプはオゾンは発生しません	**オゾン**	発生なし	オゾン発生の原因となる短波長の紫外線を出さないため、オゾンの発生無

ランニングコスト減にも貢献

- 低臭気のため、特別な換気設備の増設が必要ありません
- LEDランプは常温のため廃熱量が少なく、空調費用も減らせます
- LEDランプは必要なときのみ点灯するため、消費電力を減らせます
- UJV55-320は高温のヒーターを必要としないため、消費電力を減らせます

※ 低臭気インクを使用していますが、推奨設置環境をご理解いただき、換気の悪い部屋や密閉された空間での使用はお避けください

LUS-120インク

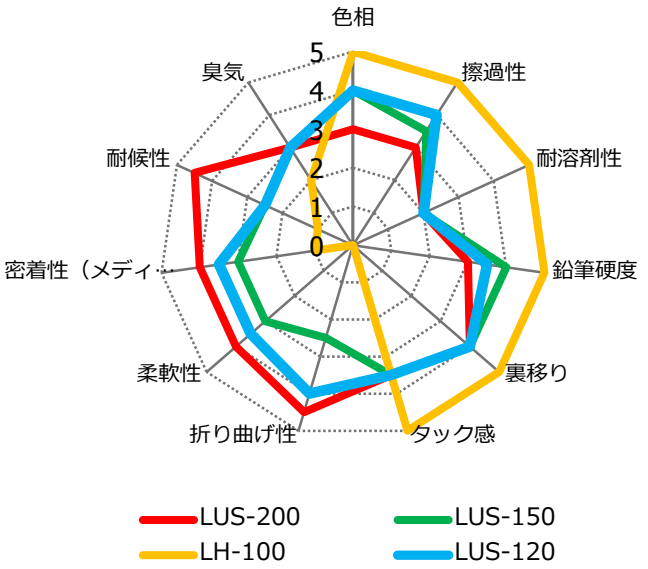
◆ 特長

- ✓ 折り曲げに強い (約170%の伸び率)
- ✓ 擦れに強く、傷がつきにくい
- ✓ 低VOC / ニッケルフリー

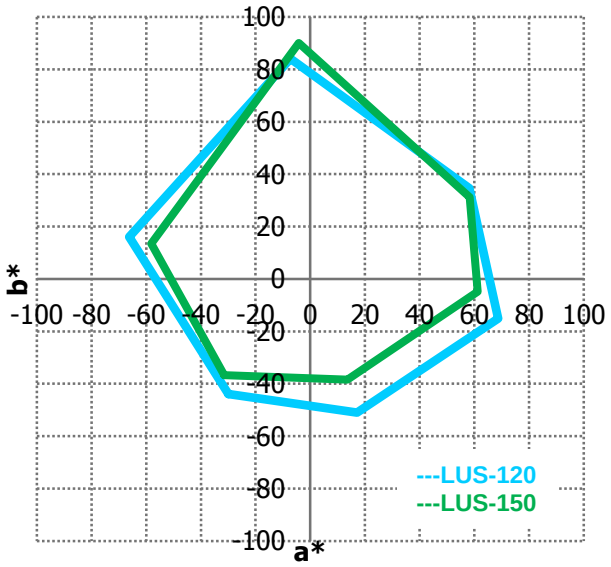
Mimaki Green Technology

【POINT 1】
擦れても傷つきにくい擦過性と、折り曲げても割れにくい柔軟性をバランスよく兼ね備えています。
時間がたってもタック感や密着について変化がなく、当社のLED-UVインクの中で、ターポリンへのプリントに最も適しています。

【POINT 2】
作業者にも環境にも配慮し、ニッケル化合物を含みません



◆ ガマット



LUS-150同等以上の色再現域を持ちます
・Yがやや狭い
・それ以外の色については広い

・LUS-120/SIJ-320UV:300x900dpi/6pass Bi-Normal
・LUS-150/JFX200:600x900dpi/24pass BiHi
・メディア：SPC-0706

LUS-120インク

● 密着性

材質	メディア	結果
PET	HK-31WF (易処理PET)	5
	ルミラー (未処理PET)	0
	U292 (表面未処理)	5
塩ビ	Mimaki SPC-0706	5
ターポリン	LUMIJET W001	5

点数：悪 0 ⇔ 良 5

塩ビ・ターポリン・易接着処理済みPETなどに対して密着性が良好。
未処理PETに対しては密着性が悪いので、プリントに適さない。

● 耐溶剤擦過性能(Rubbing Test)

	結果
Water	○
Ethanol	△*1 (溶液濃度30%)
IPA (100%)	△
Xylene (100%)	△

*1) ： 擦った跡が残る溶液濃度

LUS-120インクは柔軟性を有するインクのため、
耐溶剤性は高くない。
自社の既存インクと比較すると、LUS-150やLUS-200と同等のレベル。

・LUS-120インクは柔軟性を有するインクであるため、耐溶剤性能は高くありません。
（エタノール濃度30%程度の液体で擦るとインクがとれます。）

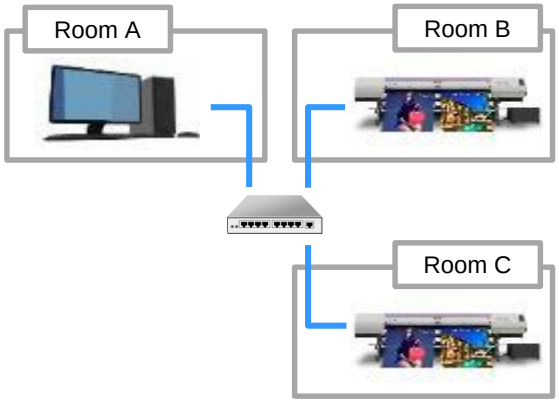
・実使用において、印刷物へのスクリーン印刷での追加工、クリアニス溶剤などの塗布により印刷物が溶けてしまう恐れがあります。 このため、LUS-120印刷物への溶剤、接着剤等の使用は推奨いたしません。

・耐溶剤性を必要とする用途でご使用になられる場合は、事前に十分確認を行った上でご使用ください。

ネットワーク接続

- **Ethernet接続**

  従来からのUSB接続に加え、Ethernetでの接続が可能になりました。クライアントPCとプリンタを別々の部屋に置いての作業や、プリンタを複数台接続したいときに便利です。オフィスのネットワーク環境にケーブルを追加するだけなので敷設が容易です。



※USBとの同時使用はできません
※カテゴリ6(CAT6)のネットワークケーブルをご使用ください
※ルータを中継した接続は出来ません
※イーサネットより印刷を行う際はプリンタと出力PCを同じネットワーク内に構築してください
※スイッチングハブを使用する際は1000BASE-T対応の機器をご使用ください
※RL6では最大4台のプリンタを登録可能ですが、ネットワークの環境により印刷が止まる場合があります

- **イベントメール機能**

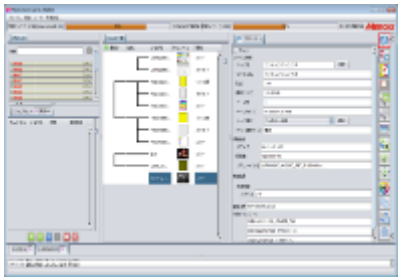
  プリンタの状態を、設定したメールアドレスに直接送信します。
  プリンタから離れた場所にいても、出力状況を把握することが可能です。



ソフトウェア

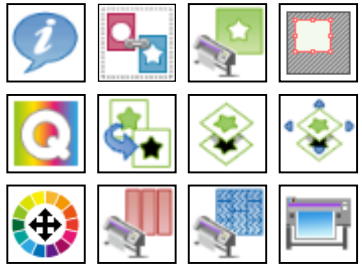
● RIPソフトウェア　RasterLink6

[直感的でわかりやすい操作性]



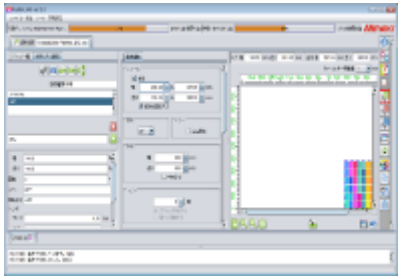
1

情報を一画面に集約
プリンタの状態、RIPの進行具合、JOBの状態を一目で確認できます
JOBの面付け、合成など
複数のJOBの関係も
わかりやすく表示します



2

やりたいことをアイコンで選択 どの画面で操作していても
アイコンクリックで素早く目的の画面に移動できます



3

日常的に使う設定はお気に入り機能で登録すれば、読み出すだけで簡単設定できます
お気に入りは100個まで登録できデータを読み込む時に選択します

[便利な機能]

・Twinロール機能
マシン側で読み取ったメディア幅を反映し、
簡単にデータの割り当てができます

・プロファイル一括印刷機能
印刷条件に合うプロファイルをまとめて印刷し、
初めて使用するメディアでも、その中から
最適なプロファイルを選択することができます

・便利機能
プリント終了時間表示
自動面付け、自動印刷
印刷進捗プレビュー

[Webアップデート機能に対応]

Webアップデート機能に対応
プログラムアップデートと
プロファイルダウンロードを
Web経由で簡単に行うことできます

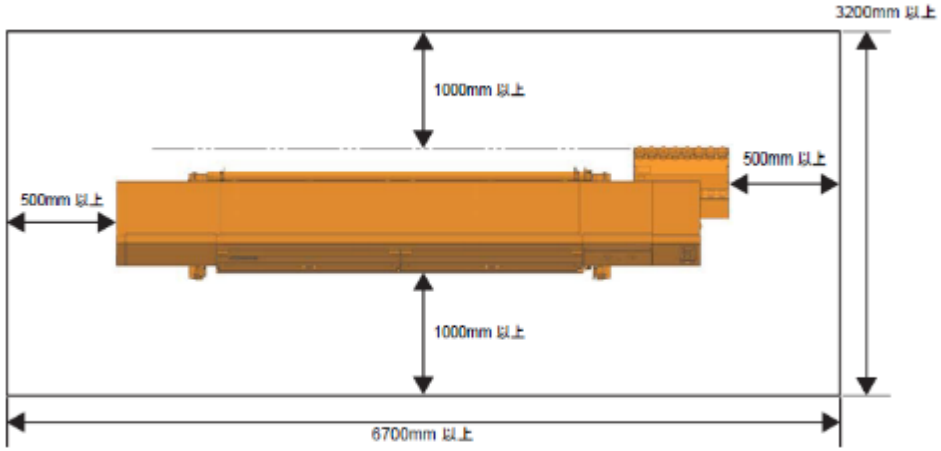
梱包形態/設置環境

【サイズ】 UJV55-320の梱包は、メインの木枠箱と付属箱から構成されます

	横幅	奥行き	高さ	全体重量	設置人数	コンテナ積載台数(40FeetHQ)
本体木枠梱包	5,714mm	1,136mm	1,203mm	1,202kg (本体重量：822kg)	4人	4台
付属箱*1	1,300mm	1,100mm	720mm	120kg (付属品重量：88kg)		
組立後本体寸法*2 上：インク供給ユニット除く 下：インク供給ユニット含む	5,410mm 5,680mm	995mm 1,220mm	1,440mm 1,440mm	910kg		－

*1 インク供給ユニット、小巻取りユニット、メンテナンスキット、洗浄液ボトル
*2 組み立て時にはフォークリフトが必要です

【設置環境】



●設置環境の注意事項

1. 床の弱いOAフロアなどは控えて下さい。
2. 空調のある環境でのご使用をお願い致します。
   ・使用可能温度： 20℃～30℃
   ・精度保証温度： 20℃～25℃
   ・相対湿度： 35～65%Rh (結露なきこと)
   ・温度勾配： ±10℃/h以下
   ・粉塵： オフィス相当
3. カーペットなどは帯電しやすい為、画質に影響を及ぼす可能性があるためご使用をお控え下さい。
4. インク臭が発生致しますので、換気の出来る環境でご使用下さい。
5. 写真定着剤を使用している場所、酢酸、塩酸等、酸性蒸気が発生する場所には設置しないで下さい。

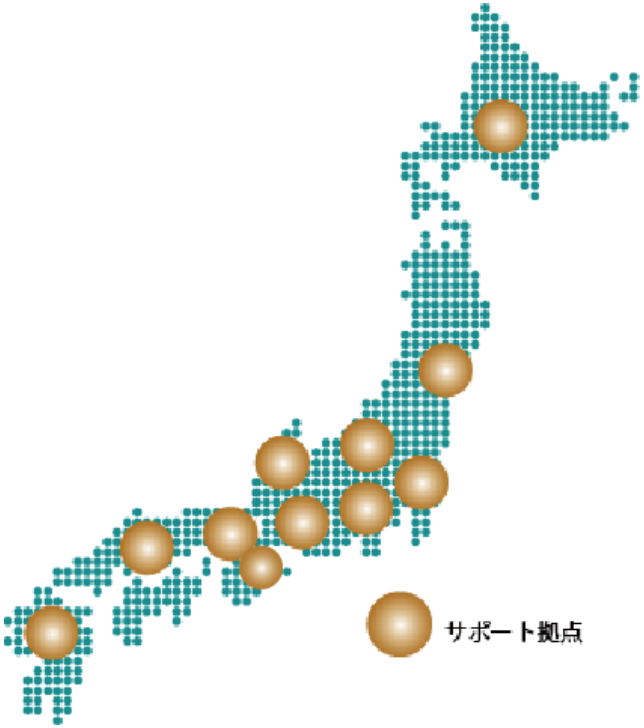
※PCの設置スペースは別途必要です

製品仕様

製品名称	**UJV55-320**
プリントヘッド	オンデマンドピエゾヘッド　(4ヘッド2スタガ配列)
印刷分解能	300 dpi, 600 dpi, 900 dpi, 1200dpi
ドロップサイズ	最小7pl　最大36pl
ヘッド高さ	4段階手動調整（プラテン面より1.7/1.9/2.6/3.3㎜）
インク種	LED-UVインク　LUS-120
インク色	４色(CMYK)　/　7色(CMYKLcLmW)
インク容量	各色最大3L
最大作図幅	Max. 3,200mm　(1200x1200dpiモードではMax.2,700mm)
最大メディア幅	Max. 3,250mm ロールホルダ使用時：[1本セット] Max.1,620mm [Twinロール] Max.1,524mm×2本
最小メディア幅	210mm
メディア厚み	1.0mm以下
メディア外径	大巻繰　Φ250mm以下　　ロールホルダ（繰り出しのみ）　Φ180mm以下
メディア重量	大巻繰　100Kg以下　　ロールホルダ（繰り出しのみ）　18Kg以下
本体外形寸法	外部インク供給ユニット除く：　5,410mm(W)x　995mm(D)x1,440mm(H) 外部インク供給ユニット含む：　5,680mm(W)x1,220mm(D)x1,440mm(H)
本体重量	910kg
梱包サイズ/重量	[本体木枠梱包]　5,714mm(W)x1,136mm(D)x1,203mm(H)/1,300kg [付属箱]　1,300mm(W)x1,100mm(D)x720mm(H)/100kg
電源仕様	単相 AC200～240 ±10%、50/60Hz±1Hz、18A以下　　※100V系では使用できません
消費電力	4.3kVA以下
設置環境	使用環境温度：20～30℃ ・相対湿度：35～65%Rh　・精度保証温度：20～25℃　・温度勾配：±10℃/h以下 粉塵：0.15㎎/㎥（オフィス相当）

サポート拠点

全国14拠点での安心サポートです



東京支社	03-5420-8680	大阪支店	06-6388-8258
札幌営業所	011-200-5500	仙台営業所	022-352-5333
さいたま営業所	048-615-0110	横浜営業所	045-478-0211
長野営業所	0268-64-2377	名古屋営業所	052-807-7501
金沢営業所	076-222-5380	京都営業所	075-693-8960
神戸営業所	078-291-5598	広島営業所	082-873-8500
四国営業所	087-814-9901	福岡営業所	092-612-1355

テクニカルコールセンター（フリーダイヤル）

ＴＥＬ	０１２０－１０６－１１４
受付時間	月曜～金曜　午前９：００～午後６：００
休業日	土曜日・日曜日・祝日及び当社指定休業日

サプライ品一覧

分類	商品コード	品名	価格（税抜）	備考
インク	I-LUS12-K-BA-1-KW	LUS-120　ブラック　1Lボトル	19,800円	1本につき容量は1Lです SIJ-320UVでプリントするのに必要なインクの本数は、各色最低で1本（4色合計で4本/7色合計で7本）、最大で3本（4色合計で12本/7色合計で28本）です
インク	I-LUS12-C-BA-1-KW	LUS-120　シアン　1Lボトル	19,800円	
インク	I-LUS12-M-BA-1-KW	LUS-120　マゼンダ　1Lボトル	19,800円	
インク	I-LUS12-Y-BA-1-KW	LUS-120　イエロー　1Lボトル	19,800円	
インク	I-LUS12-LC-BA-1-KW	LUS-120　ライトシアン　1Lボトル	19,800円	
インク	I-LUS12-LM-BA-1-KW	LUS-120　ライトマゼンダ　1Lボトル	19,800円	
インク	I-LUS12-W-BA-1-KW	LUS-120　ホワイト　1Lボトル	19,800円	
洗浄液	FL007-Z-BA-1-KA	洗浄液07　1Lボトル	4,800円	マシン購入時に6本添付
サプライ	SPA-0263	キャップ吸収材KIT	14,900円	汚れたら交換する
サプライ	SPA-0285	3L インクタンクサプライAssy	4,330円	年1回定期交換推奨
サプライ	SPA-0286	メッシュ フィルター KIT	28,900円	年1回定期交換推奨/ﾀﾝｸ1色分に付き1個
サプライ	SPA-0193	ワイパゴム交換キット	12,900円	
サプライ	SPC-0569	F-200/LF-200メンテナンス用洗浄液キット	9,600円	
サプライ	SPC-0766	Hファンフィルター	8,950円	汚れたら交換する
サプライ	SPC-0769	エア抜き治具交換用チューブ	16,220円	
サプライ	SPA-0200	廃液ボトル10L	1,900円	
サプライ	SPC-0527	ヘッド周辺用クリーンスティック50 入	4,900円	50本入り
サプライ	SPC-0568	F-200/LF-200メンテナンス洗浄液100	2,400円	100ml
サプライ	SPC-0394	不凍液	4,400円	
サプライ	SPC-0783	不凍液混合水35wt% 1L	5,150円	

オプション一覧

	商品コード	品名	￥価格（税抜）	目的・効用	部品構成
①	OPT-J0408	UJV55 Ionizer unit	520,000	メディア表面に帯電した静電気を取り除く除電装置です	イオナイザー
②	OPT-J0410	3.2mロールシャフトユニット	225,400	メディア置き台上でしわが発生してしまうメディアや、解れがひどいメディアの繰り出し用。巻きの緩いメディアに有効。元々のメディア置き台と両立不可。	3.2mロールシャフト
③	OPT-J0400	ソフトメディア搬送キット	1,100,000	薄く、コシのない柔らかいメディアを搬送するための装置です。	3.2mロールシャフト テンションバー 引張ローラー

オプション ①イオナイザー

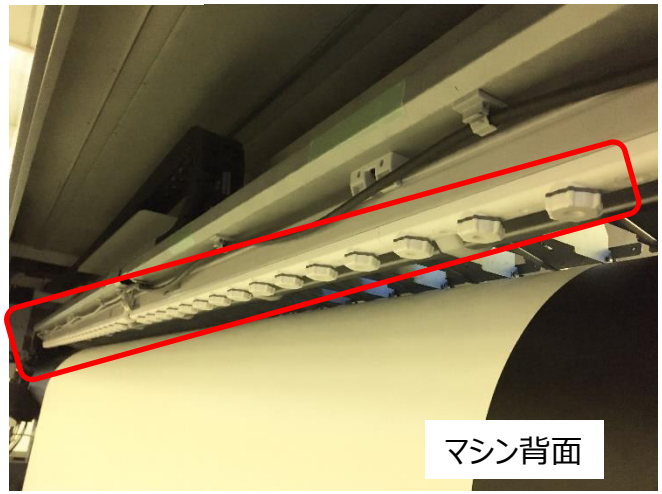
商品コード	品名	¥価格（税抜）	目的･効用
OPT-J0408	UJV55 Ionizer unit	520,000	メディア表面に帯電した静電気を取り除く除電装置です

　メディアの表面が静電気を帯びていると、空気中の埃や塵をメディアに寄せ付けたり、インクミストが跳ね返されてプリンタのノズル近辺に付着しノズル抜けが生じたりするなど、印刷物への悪影響が出る恐れがあります。
　メディア表面のアルコール拭きも効果がありますが、場合によってはメディアに傷がつく可能性が生じてしまいます。
　イオナイザーユニットを搭載することで、メディア表面を擦ることなく、帯電したメディアをプリント前に除電することが可能です。

UJV55 Ionizer Unit
(OPT-J0408)



取付イメージ



オプション　②③プリント対応メディア拡張オプション

マシン本体だけでは、柔らかくコシのないメディアはプラテン上にしわが発生し、安定的に搬送できませんでした。
OPT②3.2mロールシャフト、OPT③ソフトメディア搬送キットを搭載することにより、
本体のみの場合よりも、**安定搬送できるメディアの幅が広がります。**

メディアによって、②3.2mロールシャフトのみで安定搬送できるものと、③ソフトメディア搬送キット搭載により安定搬送できるものがあります。下表は社内評価済みの対応メディア一覧です。

メディア種	本体のみ	本体 ＋②3.2mシャフト	本体 ＋③ソフトメディア 搬送キット	社内評価済みメディア			
				経路 (P35参照)	錘	搬送可能メディア	非推奨メディア
塩ビ	○	○	○	A	–	–	–
ターポリン	△	○	○	B		DELUN 510B	
ポリエステルクロス	×	△	○	B	4kg	a.berger Revolution FR	
養生シート	×	×	○	C	6kg	Kuraray クラスターKE-200*	
ソフトPVC	×	×	○	C	6kg	DELUN 4025A	DELUN 4018A

*紙管サイズが小さい為、2/3inchi紙管へのまき直しが必要
*ニトフロンテープをプラテンに貼り搬送可能

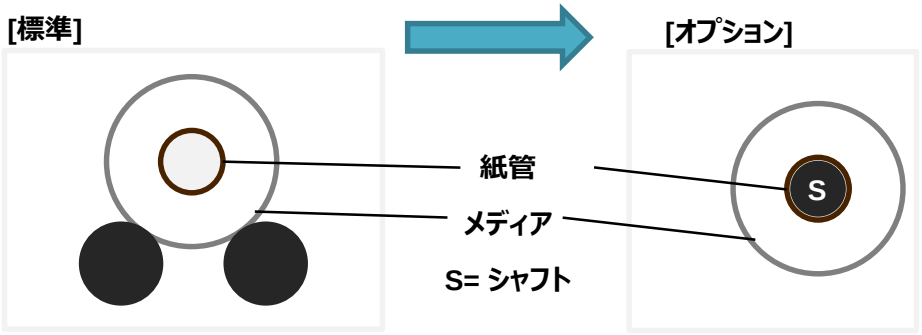
オプション　②3.2Mロールシャフト

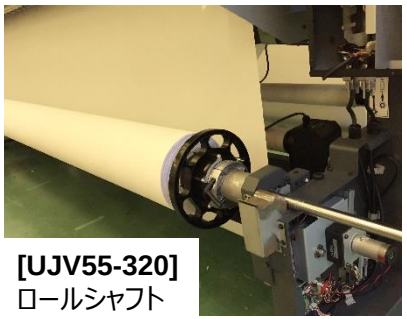
商品コード	品名	￥価格（税抜）	目的・効用	部品構成
OPT-J0410	3.2mロールシャフトユニット	225,400	メディア置き台上でしわが発生してしまうメディアや、解れがひどいメディアの繰り出し用シャフト。巻きの緩いメディアに有効。元々のメディア置き台と両立はできません。	3.2mロールシャフト

・3.2mロールシャフトは、マシン背面にある標準のメディアセット台の代わりに取り付けて使用されます
・ミマキのCEスタッフによる取り付けが必要です



[UJV55-320]
標準メディアセット台





[UJV55-320]
ロールシャフト

対象となるお客様

◆巻きほぐれやすいメディアを使用されるお客様
◆JV5と同様の方法に慣れているお客様
◆2.5-2.6m幅メディアを使用されるお客様

一部の2.6m幅メディアで、メディアの終わり（50m巻きメディアなら最後の1-2m）の地点でメディアをうまく搬送できない事例がありました。このとき、紙管と残りのメディアの重量が軽すぎて、メディアセット台の上で空回り減少が起きてしまい、搬送できなくなるためです。 全ての2.6m幅メディアで発生するわけではなく、紙管の重さが軽いメディアで見られます。
一部メディアでは紙管に重量をかける（重みのある棒を通す等）ことで空回り減少を防ぎ、搬送不良なくプリント可能でした。
事前にお客様のターゲットメディアを確認し、必ず搬送テストの実施をお願いいたします。

オプション　③ソフトメディア搬送キット

商品コード	品名	￥価格（税抜）	目的･効用	部品構成
OPT-J0400	ソフトメディア搬送キット	1,100,000	搬送が難しい薄く、コシのない柔らかいメディアを搬送するための装置です。	3.2mロールシャフト 引っ張りローラー テンションバー





ソフトPVCとは･･･？

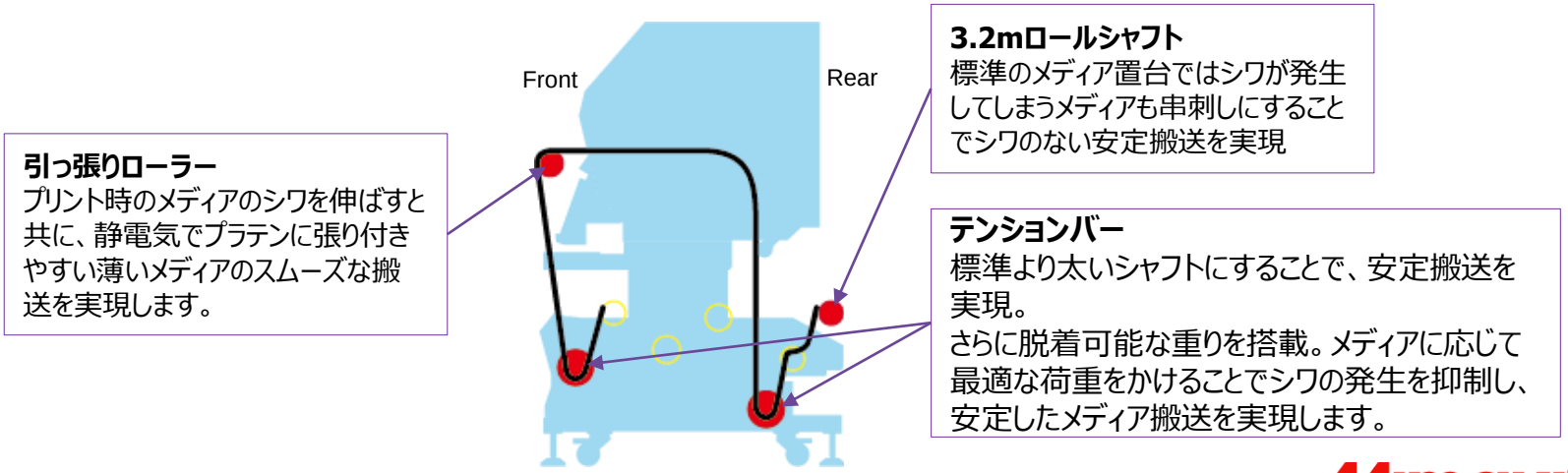
電飾用途で使われている、薄く、柔らかくてコシがないメディアのことです。

シワが発生しやすくマシン本体だけでは搬送ができませんでした。

ソフトメディア搬送キットとは･･･？

ロールシャフトに加え、プラテン上のシワを伸ばす引っ張りローラーと、メディアに最適な荷重をかけるテンションバーの追加によりシワの発生を抑制。薄くコシのないメディアでも安定搬送を可能にする装置です。

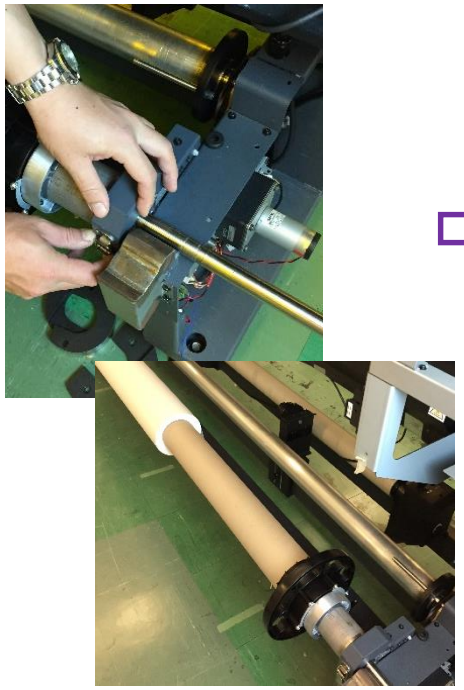
プリントできるメディアの種類が増え、仕事の幅が広がります。



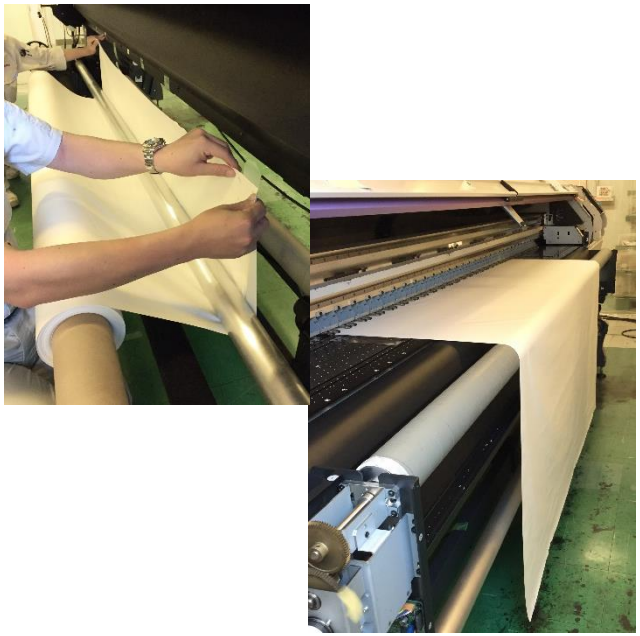
オプション　③ソフトメディア搬送キット

<ソフトメディア経路>

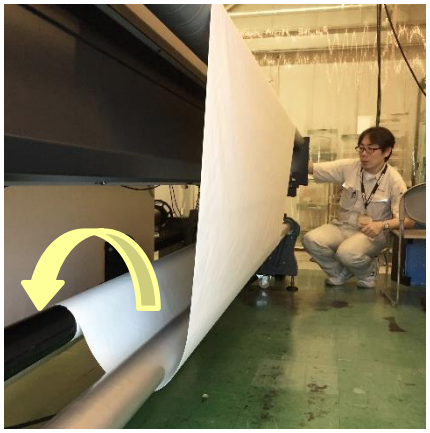
①ロールシャフトにメディアをセット



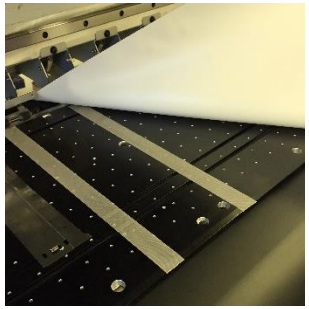
②テンションバーと引っ張りローラーにメディアを通す。

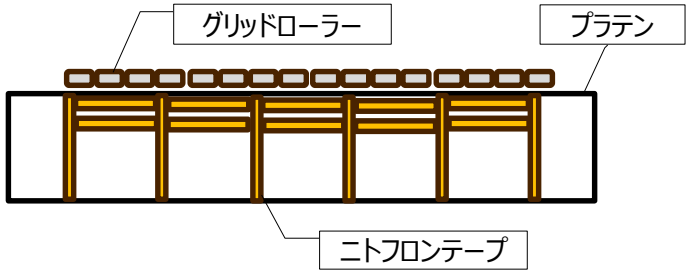


③巻取りシャフトに矢印の報告にメディアを巻きつけ、シャフト両側に錘を固定。２～3m搬送したら準備完了。



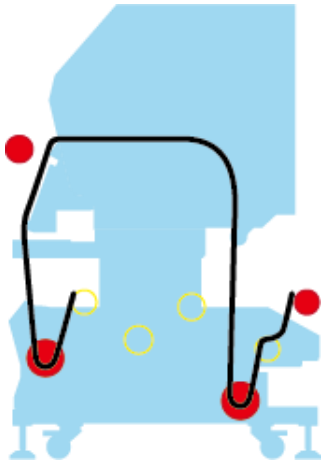
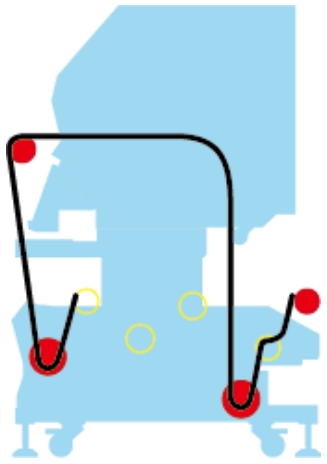
※キット装着後もメディアがプラテンに貼りついて搬送できない場合は、
ニトフロンテープをプラテンに張ると効果があります。

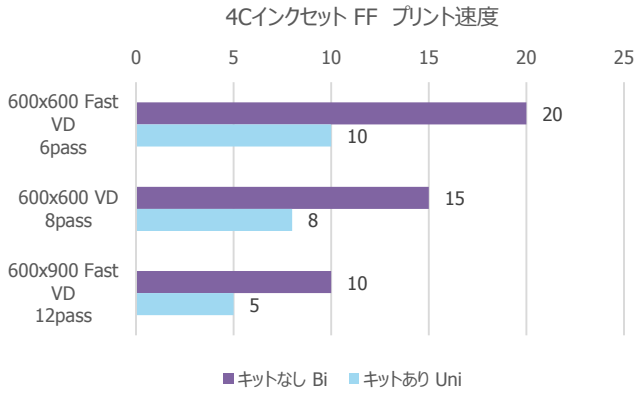




オプション　③ソフトメディア搬送キット

<キット装着時のメディア経路一覧>

A. 塩ビ	B. ターポリン	C. ソフトメディア
		
①小巻にメディアをセット ②引張ローラー、テンションバーにメディアを通さずセット ※ プリント速度は変わりません	①ロールシャフトにメディアをセット ②テンションバーにメディアを通し、引張ローラーには通さずセット ※ プリント速度は変わりません	①ロールシャフトにメディアをセット ②テンションバーにメディアを通し、引張ローラーを通してセット ※ Uni推奨の為プリント速度は低下



<C.ソフトメディアのプリント速度>
引っ張りローラーにメディアを通した場合、Uni推奨となるため、プリント速度は遅くなります。
Biも使用可能ですが、お客様判断でご利用ください

※4color ink set
※ カラー2層プリント
※ 3.2m幅メディアにプリントした場合

FAQ　ソフトメディア搬送キット

#	Questions	Answers
1	ソフトメディア搬送キットを装着するユーザーメリットは何ですか？	①安くてコシのない安価なメディアでもプリントできるようになります。 ②プリントできるメディア種が増える為、仕事の幅が広がります。
2	ソフトメディア搬送キットを装着してもプリントスピードは仕様通りですか？	引っ張りローラーを通さなければプリントスピードは変わりません。 引っ張りローラーを通す場合、Y300/450dpiに関しては、フィード速度が低下する為、最大18%プリント速度が低下します。
3	ソフトメディア搬送キットを装着してもTwin Rollプリントはできますか？	はい、できます。
4	ソフトメディア搬送キット装着後もLEDバックライトは使用可能ですか？	はい、可能です。
5	ソフトメディア搬送キット、または3.2mロールシャフトのみを装着した場合、標準のメディア置台と併用可能ですか？	いいえ、できません。 オプションを装着した場合、元のメディア置台は使用できません。

★導入前の注意事項

印刷後の後加工時（ウェルダー・縫製等）に、メディア同士が擦れた際に
色移りや巻取時に裏移りする可能性が御座います。
メディアにより症状が異なりますので、必ずお客様がご使用されるメディアにて
印字テストと後加工時の評価を実施して下さい

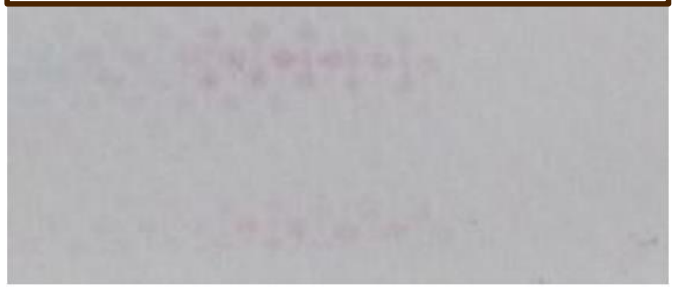
【色移りの現象について】
インクがメディアに移染するのではなく、印刷物が擦れた際にインク被膜表面の一部が削り取られ、
もう一方の基材に破片が付着するのが原因になります。特に印刷表面の凹凸感があるメディアに
その傾向が現れやすいです。

■UJV55-320/LUS-120条件：300×600dpi / 8pass Bi/ Normal /印刷直後にテスト

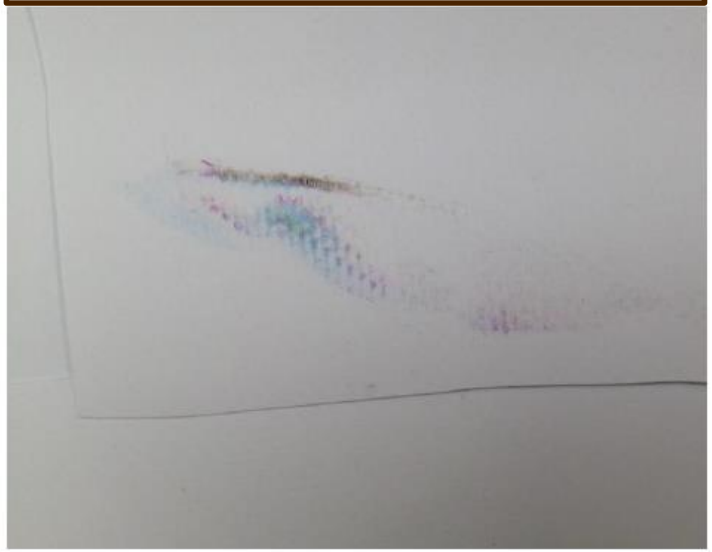
Cyan部分：基材に荷重をかけて1回擦過



Magenta部分：基材に荷重をかけて1回擦過



過剰に擦過（20回基材で擦過）



★導入前の注意事項

【改善方法】
Preヒーターを50℃にすると、色移りの程度を若干軽減する事が出来ます。
さらにマシン設定にてスキャン速度を70%にすると改善する傾向が御座います。
しかし前途の通り、凹凸感のあるメディアで擦られた場合は、ドットの頭頂部が削られてしまう為、溶剤インクと比べると色移りの程度は悪くなります。

【対処法・色移りの除去方】
もし色移りしてしまった場合には、色移りした箇所を水を含んだ綿棒または
ベンコットンなどで、軽く擦ると除去可能です

FAQ

#	Questions	Answers
1	メディアセットは何人でできますか？	メディアの重さにもよりますが、最低でも2人でのセットを推奨します。
2	メディアはセンターセットでなければいけませんか？	精度を高めるためにもセンターセットで使用してください。 Twinロール使用の場合は、中央部分のセンサーを使用して2本のメディアサイズを測るため、センターセット必須です。
3	日常のお手入れはどのようなことが必要ですか？	以下のお手入れを使用後に実施していただくことを推奨します。 ・ヘッド周辺の清掃 ・キャッピングステーション（キャップ／ワイパー／ワイパーブレード）の清掃
4	廃インクタンクには何Lまで入りますか？	10Lですが、余裕を持って交換するようにしてください。 5Lを目安としてワーニングが出ますが、こぼれないよう、ご使用後にこまめに廃棄していただくことを推奨します。
5	インクを注いでもICチップを読み込ませなかった場合、どうなりますか？	マシン本体にインク量が記憶されないため、チャージインクエンドが発生してプリントできなくなります。まずICチップのチャージを行ってから、インクを注いでください。
6	LUS-120インクの有効期限はどのくらいですか？	開封前の場合はボトルに記載の通りです。（製造日から1年） 開封後は必ず一度に使い切るようにしてください。
7	塩ビにプリントして、ラミネートをすることはできますか？	ラミネート可能です。短中期以上の掲示物にはラミネート加工を推奨します。 一般的に、UVインクは印刷面が凸凹になるため、印字部分との隙間に空気が残りやすい傾向があります。 その場合は、下記のような方法が空気残りを少なくするのに有効です。 ・糊厚が厚いラミネートフィルムを使う ・ホットラミネート ・ラミネートフィルムを貼り合わせ時に加圧する ・ラミネーター速度を遅くする
8	小巻き取りを使用するうえで注意点はありますか？	・紙管を含めて1,524㎜以内のメディアを巻き取ることができます。 ・巻き取る場合は、大巻き取り軸を外す必要があります。
9	ヘッド高さはどのように調整しますか？	4段階の手動調整です。①塩ビ標準②バナー標準③ハイギャップ④MAX キャリッジ横のハンドル位置を変えることで調整できます。

FAQ

#	Questions	Answers
10	Twinロールプリントでは、左右で異なる直径のメディアを使用することはできますか？	異なる直径のメディアを使用することはできます。 ただし、搬送精度を上げるためにも同一銘柄、同一直径のメディアを使用することを推奨します。
11	Twinロールプリントでは、左右で異なるプロファイルを使用することができますか？	左右で異なるプロファイルを使用することはできません。
12	Twinロールプリントでは、1,600mmと1,300mmのメディアを同時にプリントできますか？	できません。仕様上、Twinロールプリントで使用できるメディアの最大幅は左右どちらも1,524mm以内です。1,524mm幅以上のメディアは1本セットでプリントしてください。
13	小巻取り装置には、Twinロールプリントで左右のロールメディアの送りの精度差を調整するような機能がありますか？	ありません。そのため、同一銘柄、同一直径のメディアの使用を推奨しています。
14	プリント中にノズルチェックをすることはできますか？	いいえ、できません。 NCUが作動するタイミングは、転送ファイルごととなります。
15	プリントに適さないメディアはありますか？	薄く、やわらかく、コシのないメディアはプリントには適しません。 （ソフトPVC,天井シート,張り付きやすい養生シート,薄いターポリン） 必ず事前に評価をして、搬送性を確かめるようにしてください。
16	画質確認用ライトは使用しないときにOFFにすることはできますか？	できます。
17	Twinロール機能を使わず、ロールメディア1本のみをプリントしたい場合はどのようにしますか？	ロールホルダー“L”と小巻取りホルダー”L”は使用しません 1. ロールホルダー“L”と小巻取りホルダー”L”を端に寄せます 2. メディアをセットしたときにそのメディアが中央に配置されるような位置にロールホルダー“R”と”C”と小巻取りホルダー“R”と”C”を配置します。そしてメディアをセットします。
18	オプションの3.2mロールシャフトを使用した場合とそうでない場合で、送り精度に変化はあるか？	送り精度に差はありません。
19	1200x1200dpiモードは4色インクセットでは使用できませんか？	はい、使用できません。7色（6色+白）インクセットのみで使用可能です。 その際、最大プリント幅は原点から2,700mmとなります。

更新履歴

社外公開NG

Ver	日付	内容	作成者
0.1	1/ 6	暫定版作成	GSM　徳田
0.11	1/13	池田部長赤入れを元に構成変更	
0.2	1/28	P.2/5　インクセットを変更（4C/6C+W） P.7/8/9　プリント速度表を追加 P.23/25　内容編集	
0.21	2/1	構成変更	
0.22	2/3	アプリケーションページ案追加	
0.3	2/4	開発確認、指摘事項習生	
0.4	2/5	特長追加/P.29　サプライ品追加	
0.5	2/16		
0.6	2/22	構成変更 P.16　ホワイトインクタンク内循環を追加 P.19　バリアブルドット説明追加 P.26-27　サプライリスト追加	
0.61	2/22	P.28　画像変更	
0.62	2/24	P.2　オプション記述削除 P.10.11　1200x1200dpiモードのときの速度表記を変更 P.16　UISS機能無しについて追加	
0.63	2/26	P.2　3.2mロールシャフト発売時期変更	
0.7	3/3	P.12 確認用LEDライトをテーブルの上で使用する場合について補足 P.13.14 ロールホルダーについての説明を追加 P.20 LEDランプの稼働時間について、期間を追加 P.26 小巻ロールの重さ制限を修正 P.29　オプションの説明を追加 P.30/31 FAQ追加	
0.8	3/4	展示会用　部長承認	GSM　徳田
0.9	4/4	P.6　白サンプル写真追加 P.28　3Lインクタンクサプライ Assy　価格訂正、　LUS-120LcLmインク　品番・価格未記入 P.31　FAQ　No.19追加	GSM　徳田